

令和6年1月 自己評価結果（ドットジュニア 蘇我 第1教室（児童発達支援・放課後等デイサービス））

厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」に基づいて定期的に自己評価を実施しています。

この自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見・ご要望をもとに、業務・サービスの改善をしていくことを目的としています。

	評価項目	利用保護者様からのご意見、ご感想 <アンケート調査：R6/11/1～R6/11/18 >	事業所の取り組み状況、改善の方針等 <職員アンケート及び検討：R6/11/1～11/30>
環境・体制整備	訓練室等の適切なスペースの確保	<p>・パニックになった時クールダウンする場所もあったり、飛び出さないようにドアノブを取り外しでも安全面も工夫されていてすごいと思います。</p>	<p>・移転後の新教室では、扉の鍵はお子さんの手の届かない場所に保管し、扉の開閉は職員が行うことを徹底しております。</p> <p>・クールダウンが必要な場合に備え、落ち着けるスペースとして個別の部屋を確保しております。お子様の気持ちに寄り添いながら、安全を確保できる環境を整えてまいります。</p>
	職員の配置状況		
	事業所内の安全対策		
	環境設備の衛生管理		
	障害特性への配慮		
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル	<p>・HUGに利用日のこどもの様子を丁寧に書いてくださっているの楽しく読んでいます。</p>	<p>・いつもお読みいただき、ありがとうございます。引き続き、誤字・脱字がないことはもちろん、読んでいただいた方がその日のお子様様子を想像できるような記録を作成してまいります。</p>
	職員の資質の向上、研修の機会の確保		
	運営支援システムHUGの運用		
適切な支援の提供	適切なアセスメントの実施	<p>・支援を受けているその場には居ませんが、記録等を読むとスタッフの方の思いや専門的な視点を感じることがあります。</p> <p>・自閉スペクトラムで言い聞かせが難しく困っていましたが、息子にもわかりやすい声かけをしていただき問題行動も減り毎日登校できるようになりました。笑顔も増え、とても感謝しています。</p> <p>・クッキングや実験、運動のプログラム実施を希望します。</p> <p>・交通安全や人との距離感を学ぶプログラムを行ってほしいです。</p>	<p>・いつも記録をお読みいただき、ありがとうございます。今後もスタッフの思いが伝わるような書き方を心がけてまいります。</p> <p>・今後もお子様に寄り添った声かけをしてまいります。「～はだめだよ」といったマイナスな表現ではなく、具体的にどうしてほしいのかを伝え、その結果どんな良いことがあるのかをお子様にも考えてもらえるような言葉をかけていきます。</p> <p>・活動内容について貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。調理や実験については多くのご家庭よりご要望をいただいておりますので、今後も定期的に取り入れていきます。先日、教室独自で実施したアンケートでも、たくさんの活動に関するご要望をいただきました。これらをプログラムの予定表に反映させ、子どもたちが楽しく通い続けられる環境づくりを目指してまいります。</p> <p>・交通安全や人との距離感を学ぶ活動についても、座学やレクなどを通じて、楽しく学んでもらえるよう工夫してまいります。</p>
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援計画の作成		
	適切な活動プログラムの立案		
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認		
	支援終了後の振り返り		
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		

関係機関や保護者との連携	サービス担当者会議の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・相談したときに、すぐに対応してくれました。 ・家族が参加できる研修会の機会がない状況です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様に教室にお越しいただき、ご家庭でのお子様との接し方やお子様の成長についての悩みをスタッフに相談できる相談会を定期的に設ける予定です。具体的な開催予定が決まり次第、ご連絡させていただきます。
	学校や保育園等との情報共有、連絡調整		
	子どもの発達状況や課題の共通理解		
	相談に対する必要な助言と支援		
	学校卒業時に他の障害福祉サービス移行等のサポート		
	事業所外の専門機関等との連携		
	ペアレント・トレーニング等の支援		
保護者への説明責任等	契約時の丁寧な説明（支援の内容、利用者負担額等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ラインで頂く写真も家族で楽しみにしています。 ・通った日行った事はわかるのですがその時の様子と良くも悪くも成長をもう少し知りたいです。 ・療育として子供の変化がわかりにくいです。行ったプログラムは毎回教えて頂けていますが、それに対して本人がどこまでやっているのかわからないです。 ・保護者の会の開催を希望します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真について、いつもご覧いただきありがとうございます。これからも思い出に残る素敵な写真を撮影いたしますので、楽しみにお待ちください。 ・保護者会を開催し、教室の運営や支援についての意見交換や質疑応答を行う機会を設ける予定です。具体的な開催予定が決まり次第、ご連絡させていただきます。 ・貴重なご意見、ありがとうございます。お子様の成長がわかるように、支援記録には個別支援計画書に記載された目標と、それに対する達成度が確認できるように記入いたします。また、送迎時にも口頭でお伝えいたします。
	苦情トラブル対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応		
	会報の発行等の事業所の情報発信		
	個人情報の適切な取り扱い		
	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮		
	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会の提供		
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生に備えて、定期的な避難訓練を実施しているようです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の様子や取り組み状況については、保護者様にも共有させていただきます。 ・事業所内では毎回避難訓練の実施記録を作成し、保管していますが、保護者様向けに実施記録を作成・公開することも検討しております。今後も非常時に対応できる体制を整え、安心・安全な教室運営を行ってまいります。
	緊急時対応の保護者への周知		
	定期的な避難訓練等の実施		
	BCPと安全計画の策定と研修等の実施		
	虐待防止、身体拘束についての職員研修の実施		
	ヒヤリハット事例の事業所内共有		

満足度	子どもが安心感を持って通所しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な視点で子どもの姿を見てもらい、良い面や成長した面を見つけて、教えてもらえることは親として嬉しく、子育ての励みになります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「楽しく通っている」とのお声をたくさんいただき、こちらも大変うれしく感じております。これからも子どもたちが楽しく、安全に過ごせる教室づくりに日々取り組んでまいります。 ・興奮すると手が出やすいとのこと、保護者様も悩まれることと思います。手が出てしまうのは、お子様自身が自分の気持ちを適切に言葉で表現できず、どうすればよいかわからないために出る行動であることが多いです。そのため、教室では「手を出したこと」自体に対して叱ることはせず、まず本人の気持ちを聞き出し、それに共感したうえで「どうすればよかったのか」を一緒に考える支援を行っております。 ・これからお子様の良い点をたくさん見つけて、保護者様に共有させていただきます。また、お子様の課題が見えた場面についても、それをマイナスに捉えるのではなく、「どう支援して改善していくか」という前向きな視点で保護者様にご報告いたします。
	子どもが通所を楽しみにしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・通う前は学校へは午前中登校でしたが、今は毎日楽しく登校できるようになりました。放課後デイのプログラムを楽しみにしていて、安心して過ごせる居場所ができたからだと思います。自主的に宿題も取り組めるようになりました。 	
	現状抱える不安や悩み	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の楽しみな日（通所）が増えて良かったです。 ・興奮すると手が出やすいところがあり、悩んでいます。 	
	通所を開始して良かったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・全く初めて通うことになったが、違う学年や違う学校の子とも関係が持て、楽しんで通えている。 ・安心していける場所があって良かったです。 	
	今後期待したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・教室で友達が出来たとか、好きな話を共感できる友達がいる！とか話してくれるようになりました。 	